

■9月20日 (土) 午後

会場	工賃-127	工賃-224	工賃-321	工賃-320
	(定番) 深成岩・変成岩*	(定番) 碎屑物組成	(トピック) 南海トラフ	(トピック) 進化と絶滅史
	座長：西岡芳晴 (196-198, R2-04), 隅田祥光 (199-202)	座長：太田 亨 (115-116), 野田 篤 (117)	座長：廣瀬文洋 (65-68), 堤昭人 (69-72)	座長：清水健二 (43-46), 澤木佑介 (47-50)
13:00	<p>13:00 O-196 夜久野オフィオライトの起源についての再検討. 隅田祥光・早坂康隆</p> <p>13:15 R2-04 (鉱物) ソーン・マ縫合帯に産する角閃岩の微量元素組成. 宮本知治・小山内康人・グエン チ・ミン・中野伸彦・大和田正明・チャン ンゴック・ナム</p> <p>13:30 O-197 南アルプス鳳凰山における甲斐駒ヶ岳花崗岩のテクトニクス. 金 容義・坂本 泉・相馬伸介</p> <p>13:45 O-198 北上山地, 遠野複合深成岩体の累帯構造と全岩化学組成. 御子柴 (氏家) 真澄・蟹澤聰史</p> <p>14:00 O-199 西南日本弧東端における前期白亜紀火成活動: 朝日山地, 西朝日複合塩基性岩体の多様性. 加々島慎一・穴田真一</p> <p>14:15 O-200 領家帯葛城トータル岩に見出された後期白亜紀の大規模アダカイト質火成活動. 西岡芳晴</p> <p>14:30 O-201 西南日本のいわゆるSタイプ花崗岩について. 中島 隆</p> <p>14:45 O-202 隠岐島後のS-type花崗岩類と飛騨帯のミグマタイト質花崗岩類. 加納 隆・吉原雅之・谷大輔</p>	<p>13:00 O-115 紀伊半島四万十帯音無川層群砂岩の後背地について. 別所孝範・中屋志津男</p> <p>13:15 O-116 堆積物から見た南部フォッサマグナの弧-弧衝突テクトニクス. 久田健一郎・伊藤穂高・戸上 愛</p> <p>13:30 O-117 風化作用と淘汰作用による碎屑物組成の改変過程と源岩組成の復元方法. 太田 亨</p>	<p>13:00 O-65 IODP Expedition 315.熊野トラフ海域から掘削された堆積物の帯磁率異方性. 金松敏也・Pares Josep・芦寿 一郎・Lallemant Siegfried・眞砂英樹・IODP Expedition315乗船研究者一同</p> <p>13:15 O-66 Logging-while-drillingで明らかになった熊野海盆南縁部IODP Site C0002の層序とメタンハイドレートの産状. 斎藤実篤・宮川歩夢・木下正高・ハロルド トビン・IODP第314次研究航海乗船研究者</p> <p>13:30 O-67 ビトリナイト反射率による南海トラフ地震発生帯 掘削コア (Exp316) の古地温環境と分析手法. 坂口有人・IODP Exp.316乗船研究者一同・IODP Exp.316乗船研究者一同</p> <p>13:45 O-68 南海掘削ステージ1A, Expedition 316におけるコア試料物性計測結果の概要-特に間隙率, 密度について-. 堤昭人・Goldsby David・Harris Robert・Jiang Tao・Knuth Matt・Louis Laurent・Expedition 314-316 研究者</p> <p>14:00 O-69 南海掘削ステージ1Aのコア試料による非弾性ひずみ測定の結果. 林 為人・Byrne Timothy・堤 昭人・坂口有人・IODP Expedition 315 & 316 乗船研究者一同</p> <p>14:15 O-70 掘削地点C0001およびC0002における断層運動像. 金川久一・ルイス ジョナサン・バーンティモシー・ファマン ヴァンサン・ペールマン ヤン・IODP第315研究航海乗船研究者</p> <p>14:30 O-71 IODP Expedition 315.316航海で採取された黒色断層物質の熱履歴解析および化学分析. 濱田洋平・廣野哲朗・三島稔明・石川剛志・谷水雅治・氏家恒太郎・池原実・IODP Expedition 315&316 乗船研究者一同</p> <p>14:45 O-72 IODP Expedition 316航海で採取された付加体堆積物の高速剪断すべり挙動. 廣瀬文洋・谷川亘・林為人・徐 垣・廣野哲朗・IODP Expedition 316 乗船研究者一同</p>	<p>13:00 O-43 南中国三峡地域の地層に保存されたSr同位体比変動から読みとるエディアカラ紀の表層環境変動. 澤木佑介・田畑美幸・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史</p> <p>13:15 O-44 南中国, エディアカラ紀炭酸塩岩の高解像度炭素・酸素同位体化学層序. 田畑美幸・上野雄一郎・石川智子・澤木佑介・小宮 剛・吉田尚弘・丸山茂徳</p> <p>13:30 O-45 新原生代後期の溶存有機炭素リザーバーと造礁動物の進化. 狩野彰宏・東郷徹宏・國光陽子・王偉</p> <p>13:45 O-46 海洋酸素濃度や栄養成分濃度変化と生命進化. 小宮 剛・志村 崇</p> <p>14:00 O-47 原生代後期, 南中国Weng'an地域の微化石の生層序と微小化学分析. 村上一輝・小宮剛・平田岳史・澤木佑介</p> <p>14:15 O-48 中国雲南省澄江 (チェンジャン) 地域の最上部エディアカラ系-最下部カンブリア系 SSF (Small Shelly Fossils) 化石層序. 佐藤友彦・磯崎行雄・小宮 剛・丸山茂徳</p> <p>14:30 O-49 南中国・四川省朝天におけるペルム紀中-後期 (G-L) 境界の層序. 斎藤誠史・磯崎行雄・姚 建新・紀 戦勝</p> <p>14:45 O-50 白亜紀後期の二酸化炭素に富むコマチアイトの噴火: 表層環境変動の引き金になり得るか? 清水健二</p>
	(定番) 堆積作用・堆積過程			
	座長：小松原純子 (129-133)			
	<p>13:45 O-129 ベトナム・メコンデルタ沿岸, パードン海岸における中潮差海浜地形の変化と現行堆積過程. 洞口圭史・田村亨・七山太・Ta Thi Kim Oanh・渡辺和明・Nguyen Thi Mong Lan・村上文敏・Nguyen Van Lap・斎藤文紀・立石雅昭</p> <p>14:00 O-130 砂質干潟における泥質堆積物の堆積プロセス: 千葉県中部小櫃川河口. 西田尚央・伊藤慎</p> <p>14:15 O-131 流速の“空白”がウェーブリップルの形態と移動に与える影響. 山口直文・関口秀雄</p> <p>14:30 O-132 房総半島鮮新統清澄層のシート状砂岩の累重様式. 浦本豪一郎・伊藤 慎</p> <p>14:45 O-133 広域的な露光率分布から見た天竜川-遠州灘における砂粒子の運搬過程. 白井正明・劉海江・高川智博・岸本 瞬・佐藤慎司</p>			

それぞれに (S)・(O) の通し番号がついています。*印の合同セッションにおいては、鉱物科学会側の講演には鉱物科学会の講演番号と (鉱物) がついています。

日本地質学会第115年学術大会 講演プログラム (口頭)

■9月20日 (土) 午後

会場	般 1 -302 (定番) 付加体	般 1 -305 (定番) 年代層序	般 1 -405 (トピック) 地下地質環境	般 2 -101 (定番) 岩鉱一般*	VBL-セミナー (定番) マグマプロセス*
	座長：鎌田祥仁 (146-148), 山本由弦 (149-152)	座長：里口保文 (97-99), 植木岳雪 (100-102)	座長：渡部芳夫 (13-16), 吉田英一 (17-20)	座長：石渡 明 (217-222)	座長：金丸龍夫 (181-183), 古川邦之 (184-186)
13:00	<p>13:00 O-146 U-Pb年代測定法の現世付加体への適用へ向けて。柴田伊廣・折橋裕二・山本由弦・木下正高</p> <p>13:15 O-147 深度2.3km領域におけるプレート境界断層の変形。山本由弦・山口はるか・亀田 純・千葉淳一</p> <p>13:30 O-148 赤石山地南部, 四万十帯白根層群にみられる二つのタイプのメラランジュ。村松 武</p> <p>13:45 O-149 足尾帯南西部黒保根一桐生コンプレックスの変形構造と混在岩。鎌田祥仁・久布白健太郎</p> <p>14:00 O-150 美濃帯, 舟伏山ユニットの緑色岩類の変形構造から推察される海山付加過程。原 勝宏・狩野謙一</p> <p>14:15 O-151 沈み込み帯におけるチャート層の続成・脱水と変形の関係。—美濃帯犬山地域より—。小林今日子・山口飛鳥・木村 学</p> <p>14:30 O-152 地質断面図の3種: 付加体における例とエクシユレーションモデルへの適用。小川勇二郎・森 良太</p>	<p>13:15 O-97 南東太平洋Site1237の新生代珪藻化石層序にみる中期更新世事変。岩井雅夫</p> <p>13:30 O-98 関東平野, 多摩丘陵西部の鮮新-更新統の古地磁気層序。植木岳雪</p> <p>13:45 O-99 千葉県銚子地域に分布する犬吠層群の浮遊性有孔虫生層序 (予報)。中満隆博・林 広樹・北村敦史・栗原行人・田中裕一郎</p> <p>14:00 O-100 宮崎層群とのテフラ対比からみた津房川層の堆積年代。里口保文</p> <p>14:15 O-101 房総半島鴨川地域川谷ルートにおける安房層群木の根層の浮遊性有孔虫生層序。林 広樹・吉田達哉・高橋雅紀</p> <p>14:30 O-102 双葉層群および久慈層群のシーケンス層序学的対比。照井一明・鈴木 直</p>	<p>13:00 O-13 地下地質環境と地層処分—地下空間利用に伴う地下地質環境の変化と影響—。吉田英一</p> <p>13:15 O-14 北海道北部, 幌延地域の珪質泥岩中における割れ目の発達メカニズムと岩盤透水係数の深度依存性との関係。石井英一・舟木泰智</p> <p>13:30 O-15 阿寺断層の形成史解析—断層・割れ目形態および充填鉱物を用いた試み—。長友晃夫・吉田英一</p> <p>13:45 O-16 ヘリウム同位体は伏在活断層を検出するための指標となり得るか? 梅田浩司・二ノ宮 淳</p> <p>14:00 O-17 スイスモンテリサイトの炭素安定同位体比分布。中田英二・メーダー ウルス</p> <p>14:15 O-18 天然現象に対する深部地質環境の応答: 北海道北部, 幌延地域を事例とした地下水の流動状態の長期的変遷。新里忠史</p> <p>14:30 O-19 火山・マグマ活動長期安定性の将来予測と地層処分: 現状と今後の課題。高橋正樹</p> <p>14:45 O-20 地球科学の研究成果の放射性廃棄物地層処分安全評価への反映。川村淳・大井貴夫・牧野仁史・江橋 健・河内 進</p>	<p>13:00 O-217 CHIME年代測定における鉛のバックグラウンド測定法の検討。加藤丈典・鈴木和博</p> <p>13:15 O-218 マリアナ前弧の蛇紋岩海山群—よこすか YK08-08航海 Leg 1の成果—。前川寛和・吉田尚悟・横瀬久芳・佐藤創・FryerPatricia</p> <p>13:30 O-219 朝日山地の花崗岩類の岩石学的特徴と火成活動。小笠原正継・小島秀康・藤本幸雄・水落幸広・朝日団体研究グループ</p> <p>13:45 O-220 オマーンオフィオライト中の斜長花崗岩類の全岩化学組成の特徴。土谷信高・宮下純夫・足立佳子</p> <p>14:00 O-221 一の目湯に産する角閃石含有捕獲岩の鉱物のSr同位体組成。山元正継・武田理香</p> <p>14:15 O-222 マントル同位体不均質の起源と地球規模の物質分化・循環の制約。岩森光</p>	<p>13:30 O-181 北海道中部部, 勇払油ガス田を胚胎する滝の上期火山岩類の岩石化学的特徴と背弧海盆テクトニクス。岡村聡・八幡正弘・西戸裕嗣・指宿敦志・横井 悟</p> <p>13:45 O-182 島弧深成岩マグマの累進的酸化—ケイ長質マグマ溜まりへ注入する高SO₂苦鉄質マグマ。山口佳昭</p> <p>14:00 O-183 朝鮮半島に分布する白亜紀から古第三期の花崗岩質マグマ活動の起原と時空間進化。バク テホ・岩森 光・折橋裕二・左 容周・權 盛澤</p> <p>14:15 O-184 沈み込み帯形成初期における島弧火成活動の特徴—小笠原母島離島火山岩類の全岩主要・微量元素組成からの考察。金山恭子・海野 進・石塚 治</p> <p>14:30 O-185 オマーンオフィオライト北部におけるモホ遷移帯の地域変化と海嶺セグメント構造との関係。橋本瑛久・足立佳子・宮下純夫</p> <p>14:45 O-186 オマーンオフィオライト北部V1噴出岩層の岩石学的特徴—特に海嶺セグメント構造との関係について—。草野有紀・宮下純夫・海野 進</p>

それぞれに (S)・(O) の通し番号がついています。*印の合同セッションにおいては、鉱物科学会側の講演には鉱物科学会の講演番号と (鉱物) がついています。